

2025年度 豊橋技術科学大学同窓会 第2回役員会 議事録

日 時：2025年11月18日（火）18:15～20:45（オンライン会議）

議事録：2系（事務局担当）小松和暉

出席者（順不同、敬称略）：

若林会長、高嶋顧問、日名地（学外）、戸高（1系）、安部（1系）、足立（1系）、稻田（2系）、河野（2系・IRES²）、山根（2系）、川島（2系）、Choi（2系）、小松（2系）、安永（2系・学外）、中村（情報メディア基盤センター）、田村（3系）、松尾（5系）、Tan（総合教育院），山本（学外）

【配布資料】

資料番号 R07-TY03-01 H28 決算報告（40周年記念時の同窓会関係予算・決算）

資料番号 R07-TY03-02 記念式典に招待する海外同窓会支部の代表者の招待・旅費支援について

資料番号 R07-TY03-03 20251113名簿システムに関する打合せ記録

資料番号 R07-TY03-04 役員手当について（11/7 山根先生メール）

1. 開学50周年記念に関する各系同窓会の開催・寄付金への協力について（資料 R07-TY03-01）

稻田先生より、2026年に開学50周年を迎えるにあたり、40周年記念時と同様に各系での同窓会開催および大学への寄付金について検討する必要があるとして、40周年記念時の同窓会の決算情報を用いて説明があった。

審議事項及び結果

- 寄付の使途については50周年記念事業基金への寄付とし、大学が実施する記念事業への支援とする方向で合意した。一方で、大学側が実施する記念事業に関して具体案が出てきていないため、どのような事業に対して使途を絞って寄付を出すのかについては今後検討が必要であることが確認された。
- 寄付金額については、参考として40周年以降の繰越金増加分が約770万円あることが確認された。近年の赤字傾向も考慮し、金額については次回以降さらに検討することとした。
- 各系同窓会の開催：50周年記念式典（2025年10月30日）前に各系で同窓会を企画・開催することが確認された。以下の通り各系の幹事長を決定し、早めの準備を進めることとした。
 - 1系：戸高先生が幹事長
 - 2系・3系合同：稻田先生が幹事長
 - 4系：今後4系役員で相談の上決定
 - 5系：今後5系役員で相談の上決定

2. 50周年記念式典への海外同窓会支部の代表者の招待・旅費支援について（資料 R07-TY03-02）

稻田先生より、50周年記念式典における海外同窓会支部代表者の招待について説明があった。50周年記念式典の開催にあたり、海外同窓会支部の代表者を招待することが大学側で検討されているが、大学側の予算措置が十分でない可能性があり、同窓会としての支援について検討が必要となった。

審議事項及び結果

- 招待の主体として大学側が主体的に海外同窓会支部長の招待をし、同窓会が旅費等を支援する形が望ましいとの意見で一致した
- 50周年記念事業への寄付金の一部を海外支部代表者の旅費支援に充てることも検討することとした
- 具体的な金額や招待人数については、大学側の方針を確認した上で、次回以降さらに検討することとした

3. WEB名簿システムの改修等について（資料 R07-TY03-03）

安部先生より、11月13日に実施したワンネットシステム株式会社とのWEB名簿システムに関する打ち合わせ内容について報告があった。現行の名簿システム（アルセント102）で一斉メール送信機能を追加するために必要な改修費用が40万円であることと、現行システムのサポート期限が2028年3月末で

終了すること、また新システム（パルサイン）への移行に 150 万円～200 万円程度必要であることが通知されたことより、新システムへの移行について検討が必要となった。

審議事項及び結果

- プロジェクトチームの設置：WEB 名簿システムは大学側も利用しているため、安部先生を同窓会側の幹事長として大学側（卒業生連携室）と協力し、本件について取り組むこととした
- 同窓生への周知強化：各系同窓会開催時にメールアドレス登録を促進することとした

4. 役員時間給の変更について（資料 R07-TY03-04）

前回の総会において役員手当の増額について議論があり、具体的な金額については役員会で検討することとされていた。現行は時給 1,000 円だが、物価上昇や業務負担を考慮し、適切な金額への見直しが必要となった。参考情報として、山根先生より本学の博士学生の支援業務報酬額が次年度から 2,000 円になることが共有された。

審議事項及び結果

- 現行の時給 1,000 円を 2,000 円に引き上げることが決定された。その根拠として本学の博士学生の支援業務報酬額が次年度から 2,000 円になることを基準とした。
- 2025 年度分から適用することとなった
- 同窓会の規約に手当の金額に関する記載はないため、次年度の総会で報告することとした

5. 同窓会入会費の増額について

同窓会の最近の収支状況が赤字傾向にあり、特に学生への食費支援等の活動が拡大していることから、入会金と終身会費の増額について審議が行われた。同窓会の入会金・終身会費は同窓会設立当初から変更されておらず、物価上昇や活動内容の充実を考慮すると、適切な金額への見直しが必要となった。

審議事項及び結果

- 2023 年度と 2024 年度の赤字額と入会人数を考慮して、入会金を 5,000 円から 6,000 円に、終身会費を 10,000 円から 12,000 円に増額することが決定された
- 適用時期：規約改定が必要なため、次年度の総会で承認を得て、2027 年度入学生から適用することとした。
- また、入会費未納者への督促を開始することとした

6. 季報「技科大の顔」海外号（執筆者：留学生同窓生）の企画について

稻田先生より、年度末（2025 年 3 月または 4 月初旬）に留学生同窓生のみで構成する季報「技科大の顔」海外号を発行する企画について説明があった。

審議事項及び結果

- 執筆者として海外同窓会支部長を中心に依頼することとなった。ただし、年代の縛りは設けず、各系でバランスよく執筆者を確保することとした。
- 学生への周知強化：「技科大の顔」など同窓会の活動の認知度が低いため、同窓会の活動に関して学生食堂等での広報・掲示を検討したほうがいいのではないかという意見が出た。本件について大学側に掲示等が可能かの確認をすることとなった。

7. 懇親会・パーティー支援助成の申請要件（確認）

稻田先生より、パーティー支援助成の申請要件の確認があった。懇親会・パーティー支援助成の申請について、同窓会正会員（OB/OG）の参加人数が 10 名に満たない申請があり要件の解釈について確認が必要となったこと、また前回の総会で申請書の記載内容に不明確な点があることが指摘されており書式の改善も必要となったことが説明された。

確認事項

- 必須要件として同窓会正会員（OB/OG）が10名以上参加すること、特別会員（本学OB/OGではない教職員）のみの活動は対象外であることが確認された
- 本助成は各個人に対して年間1回の助成であるが、2回目の参加者であっても要件の10名のカウントには加算されることが確認された
- 申請書の文面や参加者リストの記載方法（卒業・修了年やメールアドレスに関する注釈）などについて不適切な部分を修正して同窓会ホームページに再掲載することとした

8. その他

(ア) 収支・決算のフォーマットについて

若林会長より、収支・決算報告のフォーマット改善案が提示された。前回の総会において、収支報告の予算と決算の金額に差異があることや内訳の記載が不明確であることが指摘されており、誤りを防ぎ分かりやすい報告書にするためフォーマットの改善が必要となった。

以下の改善案を参考に、次回以降の予算書・決算書を作成することとなった。

改善案

- 同窓会活動の内容、予算、決算を一覧表にまとめる
- 数量と単価を明記し、内訳の合計を数式で計算
- 総会資料では活動内容欄を非表示にし、予算・決算情報のみを提示

(イ) 次期会長について

若林会長より、次期会長について報告があった。若林会長が今年度で3期6年目となり、後任について複数の方に相談を行った結果、就任を了承いただける方が見つかり、次期会長候補として山本義久氏（株式会社アイシン 取締執行役員）に依頼をすることが報告された。